



お子様が心身ともに健やかに成長していくためには、乳幼児教育のパートナーである保護者の皆様が自己充実し、生き生きと輝いていることが不可欠です。本園では、「ともに育つ」という観点から、保護者の皆様をはじめ関係者全員で情報を共有したいと考え、『共育だより』を発行しています。令和新時代を迎えた今年も、生活・安全・健康などの分野から様々な情報を皆様にお届けしたいと考えています。

今年度第1号は、子どもたちとの日々の生活において、安全の意識を高めるために行っていることについてお伝えいたします。

なぜそうするのかわかってるよ

『自分の命は自分で守る』

論理的思考の芽生え

私たちは日頃から『自分の命は自分で守る』、そのためには具体的にどのようなことをすればよいのかを子どもたちと考えながら生活しています。その際大切に取り組んでいることは、“なぜそうするのか”を子どもたちに分るように丁寧に伝えることです。“戸外遊びのときには帽子を被る”“水を飲みながら遊ぶ”それはなぜ？を繰り返し確認することによって、安全の意識を高めているところです。

6月の後半に入り、新保育施設新築工事のため、スクールバスの発着が園庭に変わりました。ここでも大切なことは勿論「安全」です。今回も各担当が子どもたちにバスが園庭から出入りをすることやその際注意することなどを話し、みんなで「安全」について再確認をしました。

そんなある日、朝の二番バスを見送り園庭の門を施錠した私に、「せんせいもうあそんでいいよね。」と確認した年少児が、傍に待機していた他児に対して「バスがしゅっぱつしたからいいんだよ。」と知らせていました。話を注意して聴き、なぜそうするのかを理解していることが分かり嬉しくなりました。

また、登降園の際、帽子をかバンに入れたままの子どもには、帽子の必要性について問いかけています。子ども自身が必要だと分かって行動するようになるためにも、ご家庭でも折に触れ、「なぜなのか」をお子様と一緒に話し合い、命の守り方について意識を高めていただきたいと思います。



右側を並んで歩きましょう。
どうしてかな？



のどが渇く前に水を飲みましょう。
それはなぜ？

ノーメディアデーについて

近年、長時間のメディア使用によって、子どもたちの健康へ様々な影響があることが分かってきました。

また、低年齢からメディアに触れ続けることによる「ネット依存」や、犯罪、事件等に巻き込まれるリスクが高まることなどを考慮し、本園では、メディアについて考える機会を設けるとともに、メディアを使わない日＝「ノーメディアデー」も毎月1日に実施(黒髪校区の幼・保・小・中全て)しています。各ご家庭で無理をせずできることから始めていただければと思います。(詳細につきましては、平成30年度HP;共育だよりNo.1を参照ください。)

【メディアとは?】 スマートフォンやタブレット等のネットに接続できる機器だけでなく、テレビやネットに接続できないゲーム機器等、全てを含みます。

観測史上最も遅い梅雨入り(6月26日)となった熊本地方ですが、6月末から7月初旬には熊本市にも避難勧告が出されるなどの集中豪雨に見舞われました。こうした災害から大切な命を守るため、防災気象情報がこのほど変更になりました。裏面をご覧ください、ご家族で再確認をお願いいたします。

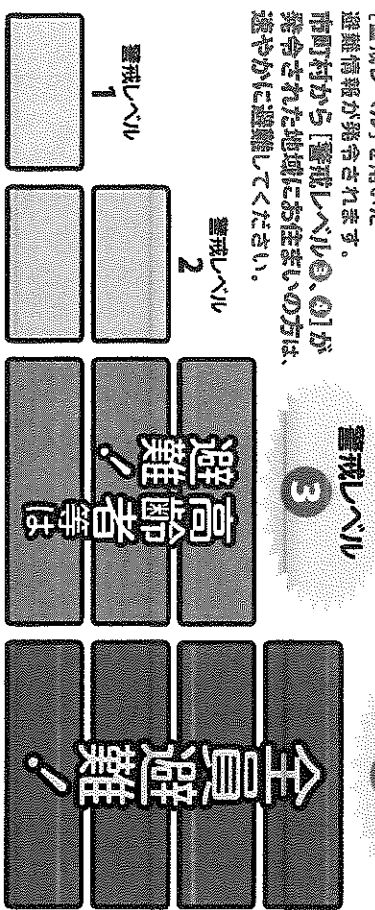
防災情報はいろいろあるけど
いつ避難すればいいの？

警戒レベル4で全員避難!!

避難行動を早く!

【警戒レベル】で避難のタイミングをお伝えします。

2019年の出水期(6月ごろ)より、
【警戒レベル】を用いた
避難情報が発令されます。
市町村から【警戒レベル①、②】が
発令された地域にお住まいの方は、
速やかに避難してください。



心構えを高める (気象庁が発令) → 避難行動の確認 (気象庁が発令) → 避難に時間を要する人は避難 (市町村が発令) → 安全な場所へ避難 (市町村が発令)

【警戒レベル①】(市町村が発令)は既に災害が発生している状況です。

次のような内容で自治体から避難行動を呼びかけます!

- 緊急放送、緊急放送、警戒レベル4、避難開始。
- 緊急放送、緊急放送、警戒レベル4、避難開始。
- こちらは、〇〇市です。
- 〇〇〇〇地区に洪水に関する警戒レベル4、避難勧告を発令しました。
- 〇〇〇〇川が氾濫するおそれのある水位に到達しました。
- 〇〇〇〇地区の方は、速やかに全員避難を開始してください。
- 避難場所への避難が危険な場合は、近くの安全な場所へ避難するか、屋内の高いところに避難してください。

内閣府(防災担当)・消防庁

水害・土砂災害について、市町村が出す避難情報と、
国や都道府県が出す防災気象情報を、5段階※1に整理しました。
＜避難情報等＞

警戒レベル	避難行動等	避難情報等
警戒レベル5	既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。	※2 災害発生情報 ※3 避難指示(緊急) (市町村が発令)
警戒レベル4	速やかに避難先へ避難しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	※2 避難勧告 ※3 避難指示(緊急) (市町村が発令)
警戒レベル3	避難に時間を要する人(高齢者の方、障がいのある方、乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	避難準備・高齢者等避難開始 (市町村が発令)
警戒レベル2	避難に備え、バザー・ドヤ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報等 (気象庁が発令)
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 (気象庁が発令)

*1 各階の情報は、警戒レベル1-5の順で発令されることにより、市町村が発令することもあります。

Q&A

- 質問1) 防災気象情報は出てるけど、避難情報が出ていないときはどうすればいいの？
⇒ 市町村は、様々な情報をもとに、避難情報を発令する判断を行うことから、必ずしも防災気象情報と同じレベルの避難情報が、同時に発令されるわけではありません。
自らの命は自ら守る意識を持って、防災気象情報も参考にしながら、適切な避難行動をとってください。
- 質問2) 避難指示(緊急)は、避難勧告と同じ警戒レベル4に位置付けられたけど、考え方が変わったの？
⇒ 避難指示(緊急)は、地域の状況に応じて緊急的に又は重ねて避難を促す場合などに発令されるもので、必ず発令されるものではありません。避難勧告が発令され次第、避難指示(緊急)を得たうえで速やかに避難をしてください。
- 質問3) 洪水で「警戒レベル4相当情報」が出ているなかで、土砂災害で「警戒レベル3相当情報」が出ただけ洪水のレベルも4から3に下がったことなの？
⇒ 洪水の危険性が4から3に下がったわけではありませんが、洪水は4のまま、土砂災害の3が追加されたのであり、その地域は洪水と土砂災害、両方の災害を警戒する必要があります。

【警戒レベル5】では既に災害が発生しています。また、必ず発令されるものではありません。

【警戒レベル3】や【警戒レベル4】で、
地域の皆さんで声をかけあって、安全・確実に避難しましょう。

詳しく知りたい方は
内閣府 防災情報のページ
http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinankankoku/h30_hinankankoku_guidehne/index.html

